



アーティスト：ホルケシュカルツ (Horkeskart)
 タイトル：live in solitude
 型番 / JAN CODE：amorfon007 / 4562144180070
 定価：2100 円 (税込)
 レーベル：アモルフォン Amorfon
 国内配給：メタカンパニー、星光堂、iTunes Store
 ジャンル：ポストロック、ワールド
 フォーマット：CD + 紙ジャケット、解説ブックレット
 発売：2006 年 10 月 8 日

全 19 曲 45:23

- Part 1 重労働の歌 - 01 Working Song (労働の歌)、02 The Spirit Of Youth (青年の精神)、03 Let's Sharpen Our Scythes (さあ我々のカマを研ごう)、04 Rebuilding Song (再建の歌)
- Part 2 詩のための歌 - 05 Brave Margot (勇敢なマルゴ)、06 A Forkful Of Love (フォークいっぱいのお愛)、07 Blue River (青い川)、08 A Song For A Song (歌のための歌)
- Part 3 あなたの家を食べている - 09 Cocoa's Waiting (ココアが待っている)、10 Streets (ストリート)、11 I'm Scared (怖いよ)、12 Ban Dal (バン・ダル)、13 I'm Eating Your Plaster (あなたの漆喰を食べる)、14 Plastic (プラスチック)
- アンコール - 15 Encore: Working Song (アンコール)、16 Encore: I'm Eating Your Plaster (アンコール)
- ボーナストラック - 17 Antenna (アンテナ)、18 Rewind! (逆行せよ!), 19 Vivacious School-trips (楽しい林間学校)

2000 年から 2006 年まで 6 年間、ベオグラード (セルビア = 旧ユーゴ) を中心にユニークでコンセプトチャルな活動が続けたホルケシュカルツ。2000 年秋、現代美術集団、SKART (シュカルツ) のプロジェクト「あなたの糞—あなたの責任」(アートと音楽を通して、公共意識や個人責任の意識を向上させる目的があった。)のために、新しいアマチュアの合唱団+オーケストラが結成された。ラジオ局 B92 が放送したメンバー募集を聞いて、人々がオーディションに集まったのだが、音楽的なテストなしにすべてメンバーに迎え入れられた。そして、ベオグラード文化浄化センター (CZKD) で行われた初演、鳴り止まない拍手喝采のため彼らは三回も演奏することとなる。ホルケシュカルツ (HORKESKART—コーラス+オーケストラ+シュカルツの意味) は、こうして誕生した。その後、彼らは、45 人からなる合唱団+パンクバンドという唯一無二の編成に進化していった。しかし、残念なことに、2006 年このアルバムをリリース後、グループ内部紛争と、シュカルツ&才能あるメンバーが脱退し、事実上グループも崩壊した。シュカルツの一人はこう語る「変化や過去の消去でさえ、セルビアではとても日常的だ」。このアルバムは、2005 年のドイツ・ツアーの際、シュトゥットガルトのアカデミー・シュロス・ソリチュードにて収録されたコンセプトチャルなプログラムを主に含んでいる。ホルケシュカルツの一番脂ののったころの録音で、ある集団コミュニティーが一致団結し、力を発揮したときの記録だ。

彼らのレパートリーは旧ユーゴ時代 (40—50 年代) の「革命」の歌から、楽曲化された詩、シャンソン、パンク、クラフトワーク (アンテナ) やブラッサンス (勇敢なマルゴ) のカバーにまで及んだ。彼らは、児童養護施設、難民キャンプ、路上、田舎の小学校から現代美術館「Ring-Ring」音楽祭まで、様々な場所で演奏してきた。2001 年のクロアチア・ツアーの際、彼らは、バルカン紛争初期の 1991 年以來、セルビア・クロアチア間の国境を 50 人以上の集団で正式に渡った初の団体となった。首都ザグレブで演奏をしたが、人口十七人の世界一小さな町として知られる Hum でも演奏をした。

2006 年 6 月、彼らは、ベオグラード大学、セルビア芸術科学アカデミー、セルビア総主教会、最高裁判所、セルビア政府の前で近年の逆行現象に対して何もしない、またはそれを支持する各機関に対して注意を促すためハードコア曲の「NAZAD! (逆行せよ)」を演奏した。

お問合せ：アモルフォン <http://www.amorfon.com>